

## 九州北部三県 みんなの森林づくり in NAGASAKI

九州全土の約6割を占める豊かな森林は、水源のかん養、国土の保全、地球温暖化の防止、保健休養などの多面的機能の発揮により、県境を越え、各県民の安全で潤いのある生活を支えています。

九州地方知事会では、かけがえのない豊かな森林を守り育て未来へ引き継ぐために、「九州森林の日」を制定しています。

九州北部三県(長崎県・佐賀県・福岡県)では、この一環の森林づくりイベントとして、去る10月28日、普賢岳の噴火により荒廃した垂木台地の植林地において、三県から集まったボランティア約170人及びスタッフ30人により、下草刈りを実施しました。

九州整備局は、国際森林年であった昨年からのイベントの後援をしており、今年度も7名(整備局:3名・佐賀水源林整備事務所:4名)の職員が参加しました。

また、整備局からは、後援者を代表して挨拶をさせていただくとともに、参加の皆様へ水源林造成業務の説明と草刈り指導等を行いました。

- 日時：平成24年10月28日(日) 10:00～14:30  
場所：長崎県島原市垂木台地(島原市南千本木町)  
内容：記念植樹(ヤマボウシ)、森づくり活動(下草刈り)、施設見学  
参加者：長崎県86人、佐賀県45人、福岡県41人  
主催：長崎県・佐賀県・福岡県  
後援：(公社)長崎県緑化推進協会  
(独)森林総合研究所森林農地整備センター九州整備局



(記念植樹)



(職員から下草刈り用具を受け取る参加者)



(下草刈りの状況)



(子供達も頑張っていました)